

砂漠化対処の日 記念シンポジウム
「砂漠化のメカニズムと日本の役割」
～ 砂漠化防止に向けた統合的アプローチ～

現在、世界の6分の1の人々と乾燥地にある農地・放牧地の約70%が砂漠化の影響を受けているといわれています。砂漠化が進行すると、飢饉や環境難民の発生、民族間の対立など大きな社会的混乱をもたらすこともあります。これは、もはや局所的な問題にとどまらず、地球規模の問題になっています。

このような問題に取り組む国際条約が「砂漠化対処条約」です。わが国も1998年に条約を締結し、砂漠化に直面する国を支援してきました。1994年6月17日に条約が採択されたことを記念して定められた「砂漠化対処の日」に、砂漠化防止の第一線で活動する研究者や現地で活躍するNGOが一堂に会し、砂漠化のメカニズムや現状について報告し、今後の日本の役割について考えます。

- 日 時：**平成14年6月17日(月) 13:00～16:00 (12:30受付開始)
- 会 場：**東京大学弥生講堂一条ホール [東京都文京区弥生1-1-1(裏面地図参照)]
- 主 催：**環境省、(財)地球・人間環境フォーラム、国連砂漠化対処条約事務局
- 共 催：**東京大学大学院農学生命科学研究科
- 定 員：**300名
- 参加費：**無料(要申込、裏面参照)
- プログラム：**12:30～ 受付開始
- 13:00～13:10 開会挨拶
奥谷 通(環境大臣政務官)
- 13:10～14:10 基調講演
石 弘 之(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)
- 14:10～14:20 休 憩
- 14:20～16:00 パネルディスカッション(砂漠化のメカニズムと日本の役割)
コーディネーター
石 弘 之(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)
- パネリスト(敬称略、五十音順)
大手 信人(京都大学大学院農学研究科助教授)
小林 正典(国連砂漠化対処条約事務局プログラム担当官)
武内 和彦(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)
森 律 子(NPO法人サヘルの森)
吉川 賢(岡山大学農学部教授)
- 16:00 閉 会

申込方法

参加を希望される方は、氏名、団体名、部署・
役職名、連絡先（住所、電話番号、FAX 番号、
E-mail）をご記入の上、6月7日（金）までに
FAX にてお申込下さい（入場券は発行いたし
ませんので、当日会場受付まで直接お越しくだ
さい）。
なお、定員（300名）になり次第、締め切ら
せていただきます。



FAX: 03 - 5561 - 9737

砂漠化対処の日 記念シンポジウム 行

砂漠化対処の日 記念シンポジウム
「砂漠化のメカニズムと日本の役割」
～砂漠化防止に向けた統合的アプローチ～

参加申込用紙

フリガナ			
ご氏名			
団体名			
部署・役職			
ご住所	〒		
T E L		F A X	
E - m a i l			

申込・問合せ先

〒106-0041 東京都港区麻布台1-9-7 飯倉ビル3階
(財)地球・人間環境フォーラム内 砂漠化対処の日 記念シンポジウム係
TEL: 03-5561-9735 / FAX: 03-5561-9737
E-mail: BCL01255@nifty.com (地崎)